

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局地域道路課

担当課長名：浜野 利彦

事業名	一般県道 <small>のぐちひらた</small> 野口平田線	事業区分	地方道	事業主体	奈良県
起終点	自：奈良県高市郡明日香村野口 至：奈良県高市郡明日香村川原			延長	0.6 km
事業概要	本事業は、「明日香村特別措置法」に基づき作成した「第3次明日香村整備計画」は、明日香村の玄関口である近鉄飛鳥駅と村内の生活及び観光拠点を結ぶ路線であり、村内の移動の安全性、迅速性の向上を図るものである。				
H11年度事業化	S49年度都市計画決定	H11年度用地着手	H11年度工事着手		
全体事業費	1.3億円	事業進捗率	89%	供用済延長	0 km
計画交通量	4,000台/日 (2/2)				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 26.2	総費用 (残事業)/事業全体 0.65/1.4億円 事業費: 0.58/1.4億円 維持管理費: 0.07/0.07億円	総便益 (残事業)/事業全体 1.7/1.7億円 走行時間短縮便益: 16/16億円 走行経費減少便益: 1.2/1.2億円 交通事故減少便益: -0.34/-0.34億円	基準年 平成20年	
感度分析の結果	(残事業を対象)				
変動要因	交通量	変動ケース	±10%	費用便益(B/C)	24.2~28.9
	事業費		±10%		21.8~32.7
	事業期間		+1年		25.6
事業の効果等	・狭隘区間の解消による歩行者や通行車輛の安全性と村内移動の迅速性の向上 ・大型車通行止区間の解消による観光バスの周遊性と観光地の魅力度の向上 他2項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見	「明日香村特別措置法」に基づく明日香村総合計画に位置づけられており、早期の完成を望んでいる。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	野口平田線の交通量がH11→H17で約1.2倍増加している。 明日香村から橿原市、桜井市、奈良北部エリア、奈良南部エリアとの自動車流動が増加している。 自動車保有台数が2.34(H12)から2.41(H17)に増加しており、自動車依存が進んでいる。 大和高田バイパスの一部開通(H15年11月)、京奈和自動車の一部開通(H18年4月) 世界遺産登録の動き(H19年2月国からユネスコに暫定リストを提出)				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収率99%(面積)、事業進捗率89%(事業費)である。(H19年度末進捗率)				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	起点部で用地取得が難航(土地及び家屋)し事業進捗が遅れているが、引き続き用地取得、工事を推進し、平成22年度の供用を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	建設発生残土の工事間の流用を積極的に行いコスト縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば当初からの事業の必要性、重要性は変わらない。				
事業概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。